

**令和元年度  
第2回滝沢市国民健康保険  
運営協議会  
審議案件説明書**

滝沢市国民健康保険

## 報告第 1 号

### 令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について

本協議会での審議事項については、滝沢市国民健康保険条例施行規則第 7 条第 2 号に「国民健康保険特別会計予算に関する事項（人件費その他軽易なものを除く。）」とあることから、本案件は報告案件としております。

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）は、29 万 5 千円の増額補正です。

補正内容は、人事院勧告実施に係る人件費関連の補正です。

なお、本補正予算は、滝沢市議会 12 月会議で議決されております。

資料は、歳入に関しては【資料 1】の 1～2 ページ、歳出に関しては【資料 1】の 3～4 ページのそれぞれ 12 月補正の欄です。

人件費の増額分について、その全額を一般会計から繰り入れているものであります。

## 議題第 1 号

### 令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について

令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）は、1 千 2 8 4 万 1 千円の減額補正です。

本補正予算につきましては、滝沢市議会 3 月会議に上程いたします。

初めに、補正予算の概要です。

令和元年度も終盤を迎え、国民健康保険税や交付金などの歳入状況と医療費などの歳出状況の目途がたってきました。

歳入では、8 款の諸収入が 1 千 3 7 9 万 1 千円の増額とする一方、1 款の国民健康保険税が 4 6 4 万 2 千円、4 款の県支出金が 8 1 2 万 6 千円、6 款の繰入金が 1 千 3 7 7 万 8 千円の減額としております。

歳出では、8 款の諸支出金が 6 8 9 万 4 千円、9 款の予備費が 1 千 4 9 9 万 9 千円の増額とする一方、1 款の総務費が 4 6 0 万 2 千円、2 款の保険給付費が 1 千 2 0 2 万 1 千円、5 款の保健事業費が 1 千 8 0 4 万 9 千円の減額としております。

保険給付費の減額により医療費に係る歳入科目について減額しているところですが、保険給付費の減額の大きな要因は、被保険者数の減少の影響が大きかったと分析しております。

なお、令和元年度の上半期の状況をみると、全国的に医療費が 0. 4 % 減、被保険者数が 4. 1 % 減となっております。

次に、まず歳出について、補正額の大きな款について個別に説明いたします。

【資料 1】 3 ～ 4 ページの 3 月補正欄をご覧ください。

1 款の総務費は、4 6 0 万 2 千円の減額です。これは入札残や支出見込額の確定による減額です。

2 款の保険給付費は、1 千 2 0 2 万 1 千円の減額です。

1 項 1 目の一般被保険者療養給付費が 1 千 9 8 万 6 千円、1 項 2 目の退職被保険者等療養給付費が 3 0 3 万 4 千円、2 項 2 目の退職被保険者等高額療養費が 1 1 3 万 8 千円、4 項 1 目の出産育児一時金が 3 3 6 万円の減額ですが、2 項 1 目の一般被保険者高額療養費が 6 5 5 万 6 千円の増額としております。

保険給付費の減額は、概要で説明したとおり被保険者数の減少の影響が大きかったと分析しています。

また、退職被保険者の保険給付費については、退職者医療制度が令和 2 年 3 月末での制度廃止が決まっており、被保険者の減少が続いているため、減額しております。

5 款の保健事業費は、1 千 8 0 4 万 9 千円の減額です。

若年者健診など一部事業が完了していないものもありますが、特定健康診査事業

など、事業完了による支出見込額の確定による減額です。

**8 款の諸支出金**は、6 8 9 万 4 千円の増額です。平成 3 0 年度の保険給付費等交付金の精算に伴い、県に返還するものです。

**9 款の予備費**は、1 千 4 9 9 万 9 千円の増額です。2 款の保険給付費は減額していますが、保険給付費が見込み額を上回る場合に備えて、予備費を増額しております。

続いて、**歳入**について、補正額の大きな款について個別に説明いたします。

【資料 1】の 1 ～ 2 ページの 3 月補正欄をご覧ください。

**1 款の国民健康保険税**は、4 6 4 万 2 千円の減額です。

1 目の一般被保険者分が 1 5 1 万 3 千円の減額、2 目の退職被保険者分が 3 1 2 万 9 千円の減額です。退職者分は結果的に過大見積もりとなりました。

**4 款県支出金**は、8 1 2 万 6 千円の減額です。歳出でも触れましたが歳出 2 款保険給付費が減額になることにより、保険給付費の財源となる 1 項 1 目の保険給付費等交付金も減額になります。

**6 款の繰入金**は、1 千 3 7 7 万 8 千円の減額です。歳入見込みによる繰入金の減額です。

**8 款の諸収入**は、1 千 3 7 9 万 1 千円の増額です。

1 項 1 目の一般被保険者延滞金は 4 9 6 万 5 千円の増額、3 項 3 目の一般被保険者返納金は 2 1 6 万 4 千円、3 項 5 目の雑入は 6 3 2 万 8 千円の増額です。

以上で、「議題第 1 号 令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）について」説明を終わります。

## 議題第 2 号

### 令和 2 年度滝沢市国民健康保険事業計画について

国民健康保険事業計画は、法令等に策定規定があるものではなく、県の指導監査において策定するよう指導を受けているものです。

ここでは、大きな変更点について説明いたします。

2 ページの「3 国保の財政見通し」という大項目を追加しました。これまでは「財政調整基金と国民健康保険税の税率改正」という小項目のなかで説明していましたが、議会に説明予定の資料について、別途説明させていただきます。

3 ページの「5 主な取り組み」の（1）被保険者の健康保持・増進についての説明に小項目を追加し、内容に糖尿病と高血圧の予防事業についてそれぞれ説明しております。

また、目標値と実績値について、その後の結果がわからないという意見をいただいていたので、数年分の経過について確認できるように修正しました。

4 ページの（2）収納率向上対策の推進の徴収対策ですが、昨年まではサービサー（債権回収会社）の活用をあげていましたが、これが削除になりました。

大きな変更点は以上になります。

以上で、「議題第 2 号 令和 2 年度滝沢市国民健康保険事業計画について」の説明を終わります。

## 議題第3号

### 令和2年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について

令和2年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額45億9千88万円であります。

本当初予算については、滝沢市議会3月会議に上程いたします。

初めに、当初予算の概要です。

資料は、【資料5】の1～4ページです。

令和2年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算は、総額45億9千88万円で、令和元年度当初予算比では2億2千683万8千円の減で、率にして4.71%のマイナスとなります。

これは、保険給付費の減少により予算規模が縮小したものです。

続いて、歳入について、【資料5】の1～2ページにより説明いたします。

1 款の国民健康保険税は、8億5千902万6千円で、対前年比で3千606万3千円の減、4.03%のマイナスです。

1 目の一般被保険者分が3千210万1千円の減で3.60%のマイナス、2 目の退職被保険者分が396万2千円の減で、95.35%のマイナスです。

国保被保険者の減少に伴い、国民健康保険税の歳入も減額になります。また、退職者医療制度が令和2年3月末で廃止することから、退職分は大幅な減となります。

2 款の使用料及び手数料は、40万1千円で、対前年比では25万円の減、38.40%のマイナスです。2 目の督促手数料を減額としました。

4 款の県支出金は、32億4千784万8千円で、対前年比で1億8千736万8千円の減、5.45%のマイナスです。

1 項1 目1 節の普通交付金は、滝沢市国保が支払った保険給付費の対象経費全額を県が交付するものです。対象経費は、保険給付費のうち、1 項の療養諸費（審査支払手数料は除く）と2 項の高額療養費、3 項の移送費です。

なお、予算計上金額は、県の示達額のとおりです。

6 款の繰入金は、4億7千149万4千円で、対前年比で305万7千円の減、0.64%のマイナスです。

1 項の他会計繰入金は、3億4千872万3千円で、対前年比で3千237万6千円の減、8.50%のマイナスです。

2 項の基金繰入金は、1億2千277万1千円で、対前年比で2千931万9千円の増、31.37%のプラスです。

8 款の諸収入は、1千210万8千円で、対前年比で10万円の減、0.82%のマイナスです。

1 項1 目の延滞金が10万円の減で0.82%のマイナスです。

続いて、歳出について、【資料5】の3～4ページにより説明いたします。

**1 款の総務費**は、9 千 4 6 万 5 千円で、対前年比では3 千 8 6 4 万 3 千円の減、29.93%のマイナスです。令和2年度から導入する国保市町村事務処理標準システム関連経費等の減です。

**2 款の保険給付費**は、31 億 8 千 7 4 8 万 8 千円で、対前年比で1 億 6 千 8 7 9 万円の減、5.03%のマイナスです。

1 項療養諸費は対前年比で1 億 6 千 5 1 9 万 9 千円の減で5.63%のマイナス、2 項高額療養費は対前年比で1 4 1 万 9 千円の減で0.35%のマイナスです。

歳入で説明したとおり、保険給付費のうち1 項の療養諸費（審査支払手数料を除く）、2 項の高額療養費、3 項の移送費に関しては、実際に支払った全額が県から普通交付金として交付されます。

**3 款の国民健康保険事業費納付金**は、12 億 2 千 1 3 万 8 千円で、対前年比で3 千 2 万 2 千円の減、2.40%のマイナスです。

国の負担金・補助金や社会保険診療報酬支払基金の交付金と負担金等を調整したうえで、医療給付費分と後期高齢者支援金分、介護納付金分に相当する金額を県に納付するもので、県の示達額のと通りの計上です。

**5 款の保健事業費**は、7 千 3 3 7 万 9 千円で、対前年比で4 2 6 万 9 千円の減、5.50%のマイナスです。特定健康診査等業務委託料の減額に伴う委託料の減です。

**8 款の諸支出金**は、4 4 0 万 3 千円で、対前年比では5 万円の減、1.12%のマイナスです。

以上で、「議題第3号 令和2年度滝沢市国民健康保険特別会計当初予算について」説明を終わります。